

あざが



9月定例会

じゅうび さん 祝！鷲峰山トンネル貫通

将来の夢、貫通石に託して

和束小学校・中学校代表の児童・生徒が、将来の夢を貫通石に描き、貫通したトンネル内に納めました

決 算 令和4年度決算概要・主な質疑 >>> P.2

決まったこと 補正予算他 >>> P.7

一般質問 2人が町政を問う >>> P.9

委員会報告 総務厚生・産業他 >>> P.12

まちの元気 陶芸家 西川 真衣さん(湯船) >>> P.14

異常な物価高騰の中で 支援強化に努力

9月定例議会は11日から26日までの会期で開催されました。令和4年度決算認定や令和5年度補正予算、総合保健福祉施設建設工事の請負契約など町長提案の議案17件を審議し可決。議員提案の意見書3件は否決しました。決算認定は19・21日に特別委員会で審議し、一般会計及び特別会計の決算を原案通り可決し認定しました。

水道料金値上げ後の結果めぐり議論

住民生活に大きな影響を及ぼした

簡易水道料金の改定（値上げ率43%）

後の結果をめぐり、改定に至るプロ

セスや説明責任、改定の根拠、目的

等の妥当性について議論。同時に、

施設の老朽化への対応や、人口や給

水量の減少にともなう今後の水道事

業や料金のあり方等、質疑を通じ、

多くの課題も浮き彫りになりました。

コロナ、物価高への対応

国の臨時交付金等を活用した施策

が多く実施されました。生活や生業

支援では、生活応援商品券（2回・

計1人1万5000円）、水道基本料

金免除（9カ月分）、子育て世帯生活

支援給付金（0歳～大学生等に1人

5万円）、農家への肥料代補助（10a

当り4000円）等です。

感染対策では、診療所でのPCR

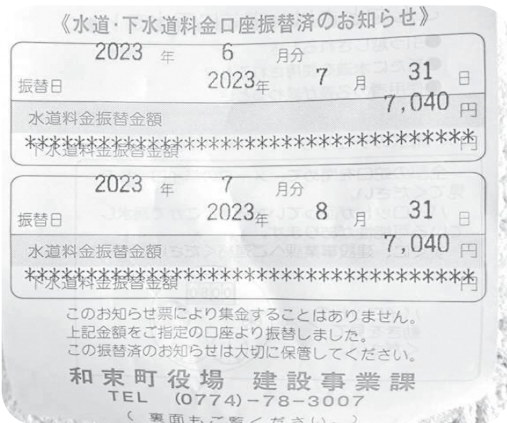
や抗原検査の無料実施、保育園や児

童クラブ、ヘルパーなど介護現場等

での定期検査、子どものインフルエ

ンザ予防接種種費無償化（小6まで）

等を実施しました。



大きかった値上げの影響

コロナ・物価高対策 主な施策



生活応援等
商品券事業

約5815万円



子育て世帯
生活応援給付事業

約1766万円



水道基本料金
の免除事業

約3256万円



茶業経営支援
給付金事業

約1692万円

令和4年度 決算

コロナ感染拡大

暮らしと生業



模索が続く実証運行

地域交通の充実を目指し、デマンド型乗合交通（ワズカー）の実証運行を9月末から実施。登録・予約が必要となる利用手続き、乗降場所までの距離、エリア別の料金体系等、実施当初から問題点が浮き彫りになり、登録数や利用者数が低迷。短期間に、料金や乗降場所の増設等、運行内容の見直しが続けられ、実証運行は5年度も継続する事になりました。



耐震改修を終えた保育園

保育園の改修が完了
保育園の耐震改修工事が完了し、園内施設の改善、防犯設備等が整備されました。
子育て支援の充実では、一部負担が残っていた保育料が完全無償化されると共に、18歳までの医療費や学校給食費や修学旅行費等の無償化が継続されました。

総合保健福祉施設整備への準備すすむ

施設の整備にむけて、社会福祉セ



工事が始まった総合保健福祉施設

ンターの解体工事が行われ、具体的な施設設計の内容が固まりました。
一方、施設的设计業者の選定をめぐり「経過が不透明」との報道や指摘があった件についての質疑では、町は「町長の裁量の範囲であり問題はない」との姿勢を示しました。

「WazCar」の実証運行を実施

決算特別委員会

Q&A

Q 簡易水道料金の基本水量を変えたことが、大幅な値上げの原因となっているが、住民生活への影響をどのように考えているか。

A 水道料金の値上げは苦渋の決断であったと、前堀町長も苦しんでおられた。平成28年から検討に入り、もう少し早い時期の値上げを検討していたが、コロナの影響から時期をずらし、使用量の実態に合わせた形で基本水量の変更をさせていただいた。

Q 平成28年の経営戦略では25%値上げが前提となっていたが、今回43%となった。

A 当初、25%を基に水道委員会で水道料金改定を進めていたが、80%近い値上げが必要となったため、住民の理解が得られないことから、43%の判断をした。

Q 料金の値上げは、西和東地域の水道管の老朽化により、本管の破損や漏水が多発し、早急な改修が必要で、水道会計の健全化を図ることが目的と認識しているが。

A 今年だけみても水道管の修

繕はほぼ西和東地区しかない。一日も早く西部水源に手を付きたい。出来る限り水道を使用していただき、水道経営を安定させたい。

Q 西和東地区の水道整備は、水道料金をさらに上げ、負担の公平性も考える必要がある。谷水・井戸の利用実態を調査し、納得のできる根拠をもつて水道事業の在り方、将来の料金の値上げ実施を計画すべき。



漏水復旧 速やかに

A 個人の権利もあり、ご理解をいただきながら、検討・調査に取り組み、経営戦略に反映させたい。値上げをしなく

て済むように、次の事業を立案したい。

Q 下水道の接続率、過去数年間の接続率の伸びは。また接続率を上げる取り組みは。

A 処理人口が2274人、接続人口1676人、現在の接続率は77・1%で、令和3年から令和4年の接続率はプラス17%となっている。接続については「れんけい」等の広報でお願いをしている。

Q 下水道のポンプ交換のピークはいつ頃か。財政悪化をさせないために水道と下水道の値上げを考える必要があるか。

A 現状のポンプはオーバーホールなどで長寿命化を図っている。今後はストックマネジメント等で改修計画を図りたい。住民の負担が少ないような形で事業を行いたい。料金等は下水道委員会と水道委員会等での検討課題。

Q 下水道委員会の中で、将来的に持続可能な汚水処理の在り方を検討いただきたい。

A 近隣市町村では下水道整備計画率100%という市町も

あり、大谷処理場の在り方等も考えながら、下水道の在り方や、環境問題等も併せて検討していきたい。

Q 和東茶ブランドや新商品開発事業は、今後どのように茶業につなげていけるのか。

A 和東茶の付加価値を付けることで、新たな商品や魅力ある経営につながり、担い手の確保につなげたい。

Q 農家の高齢化や更なる販路拡大等を考えると、町外からの担い手を確保することも重要と考えるが。

A 地元のことを考えながら、新たな農業の在り方を考える中で、マッチングや行政運営を行いたい。

Q 総合保健福祉施設の設計業者選定に係る、募集要項の何を根拠に対応されたのか。

A 募集要項では優先交渉者2社を決定し、町長が裁量権を持って2社と交渉を進めた。

Q 通常とは異なる選定方法になると、受注を受けた業者が声明を出されたが。



手から手へ温かいお弁当を

Q 決定方法は、両社や選定委員会にも通知し、両者が来ていただいたことは、納得いただいていると解釈している。

Q 社会福祉協議会の軽度生活支援の有償ボランティアへの実費弁償として1時間当たり800円と聞いているが、近隣市町村では草刈りに関しては1200円払っているところもある。改定の考えは。

A 協議した中で適正な費用弁償の価格設定をしていきたい。

Q 配食サービスについて、近隣市町村では通年で週1回や月曜から土曜まで毎日取り組んでいるが、今後の考えは。

A 夏場の食中毒や予算の関係もあり、また一定個人負担もいただいております、今後検討し進めていきたい。

Q 紙おむつ補助については非課税世帯が対象となっていては、介護負担等も大きく、紙おむつ利用者も増えてきている中で、対象を拡大する考えは。

A 物価高騰を含め高齢化率も上がってきている中で、検討していきたい。

Q 相楽東部未来づくりセンターのシルバー人材センター設置の取り組みは。

A 未来づくりセンターと東部3町村の担当者で検討を進めており、公助・自助・共助の中で、シルバー人材センターの業務を見つけないが、方向性を検討していきたい。

Q 献血者の状況と周知方法は。国の方針では、小中学校の教育現場での献血推進活動を含め、献血の理解を深めるとされているが。

A 令和4年度は2回で39人、広報誌やホームページ、ポスター等で周知しているが、今後検討していきたい。また、小中学校の総合学習の時間を活用し教育してもらえようように提案する。



観光・交流拠点 和東茶カフェと和東の郷

Q 伊賀市・名張市のごみ処理広域化について、和東町を含む京都府の3町村に参画の打診があったとの報道があるが。

A 伊賀市と南山城村・笠置町は定住圏の協定の中にごみ処理も書かれており、9月頃から任意協議会で検討されると聞いています。本町として、現時点では京都府の広域ごみ処理行政の方に動きたいと考えています。

Q お茶のテーマパークの中で観光拠点としての施設の考えは。

A 町全体を1つのテーマパークとして考えていきたい。個々の拠点施設を置く考えは計画にはない。

Q 何かに特化した教育を進めることで、移住・定住者の増加につながると思うが。

A 教育委員会等も交えた中で今後の動きを考えたい。

Q 令和4年度の介護保険特別会計の実質収支では赤字となったが、令和3年度の保険料の値上げは妥当だったのか。

A 保険料は国の算定根拠に基づくもので、適正なサービスを提供するためには、一定住民にご負担をいただく設定となっている。

Q 介護保険制度を安心できるものにするために国の財政負担を求め必要がある。

A 国・府の方に強く要望する中で、できる限り高齢者が安心して過ごせるまちづくりをしていきたい。

決算特別委員会では、令和4年度の一般会計及び各特別会計（湯船財産区特別会計は除く。）について「反対」「賛成」それぞれの立場から討論が行われました。
ここでは、一般会計決算への賛成討論と反対討論を掲載します。

一般会計決算

賛成討論（畑 武志議員）

- ①コロナ対策のワクチン接種は、前年度に引き続き全庁的な接種体制を構築、迅速に接種が進められた。また子育て世帯や非課税世帯等への給付金施策、物価高騰の影響を受ける茶農家への支援など、限られた財源のなかで、支援が必要な対象者に対して適切な支援を行うなど、住民生活の下支えとなる施策が展開された。
 - ②保健・医療・福祉の総合的な拠点となる総合保健福祉施設の整備事業が本格的に着手され、施設的设计業務を行うとともに、社会福祉センターの解体が進められるなど、施設整備に向けた取組が進められた。
 - ③喫緊の課題である人口減少や少子高齢化の解消に向け、和東保育園耐震改修工事が完了したことで、保育環境の向上が期待され、保育料や医療費、給食費などの無償化を継続し、子育てしやすいまちづくりに向けた取り組みが推進されている。
- その他、祝橋や石寺橋の架替工事、河川の浚渫、デマンド型交通「ワヅカー」の実証実験など、第5次総合計画に掲げる将来像「和の郷 知の郷 茶源郷 和東」の実現めざし事業を展開された。今後総合保健福祉施設整備事業や鷲峰山トンネル開通を見据え、長期的展望に立つとともに、足元の住民の暮らしを守る取り組みを推進されることを期待し、賛成する。

反対討論（岡本正意議員）

- ①暮らしやなりわいへの支援強化は、国からの交付金頼みで、災害並みの緊急事態にふさわしい取組ではなかった。基金を適切な規模で取り崩し活用を図る。機動的で機敏な対応を今後とも求めたい。
 - ②定住促進の受け皿に空き家のみでは限界がある。一定数の公営住宅の整備・提供が必要で早急に計画を持ち、具体化することが喫緊の課題。子育て支援として保育料の完全無償化が実施されたことは重要な前進。医療費無償化などの先進的な施策は、府内でも同じ水準に拡充が行われ、もはや先進的ではない。さらに思い切った拡充が求められる。
 - ③ワヅカーによるデマンド型乗合交通の実証運行は、事前の説明が極めて不十分。実証運行の分析を湯船区民に説明し、理解を得た上で、路線バス廃止を判断する必要があったのではないか。
 - ④総合保健福祉施設の整備に関わる経過が不透明。選定経過に問題がないのであれば、明確な理由を丁寧に説明すればよい。今からでも説明を尽くし、今後の教訓にされることを求めたい。
 - ⑤配食や紙おむつ購入補助等の福祉施策が長年充実に向かわない状況も続いている。シルバー人材センターの開設もまだできていない。抜本的な対策強化を求めたい。
 - ⑥相楽東部広域連合を真剣に見直す必要がある。教育委員会の統合は、もともと教育的な意味はない。広報紙の発行も町に戻し、よりローカル性を発揮した広報に改善すべき。
- 以上の理由から反対する。

※討論は現に議題となっている事件に対して、自己の賛成又は反対の意見を表明することです。自己の意見に反対する者及び賛否の意思を決めていない者を自己の意見に賛同させるために行います。

8月臨時会・9月定例会で決まったこと

令和5年度和東町一般会計 補正予算(第3号専決)	町長選挙費及び町議会議員 選挙費 1260万円	和東町総合保健福祉施設建 設工事請負契約の締結	契約金額 16億1150万円	契約相手方 株式会社巖建設	石寺景観展望施設整備工事 (1工区) 請負契約の締結	契約金額 4836万7000円	契約相手方 井上・山喜特定建設工 事共同企業体	和東町過疎地域持続的発展 市町村計画の変更	事業計画に町道中溝学校 線拡幅改良工事など追加 湯船辺地に係る総合整備計 画の策定	生活や産業の基盤となる 道路交通網の整備、橋り よの補修等のための計 画を策定	土地改良事業の施行	事業名 災害復旧事業	工事名 農地農業施設災害 復旧工事	内容 令和5年発生災害 2件	金額 2000万円
-----------------------------	----------------------------	----------------------------	-------------------	------------------	-------------------------------	--------------------	-------------------------------	--------------------------	--	--	-----------	------------	----------------------	-------------------	-----------

○一般会計補正予算

・茶源郷まつり補助金	300万円
・町葬実施事業	500万円
・茶源郷乗合交通生活お届け事業	391万円
・新型コロナウイルスワクチン接種事業	597万円
・災害復旧費(農業用施設・道路橋梁・河川)	4660万円

○簡易水道事業補正予算

・一般管理(維持補修)	500万円
-------------	-------

○介護保険補正予算

・権利擁護事業	31万6000円
---------	----------

令和5年度補正予算では、一般会計・特別会計合わせて933万6000円増額された。

主な質疑

問 観光ゾーンと生活空間が一体となっている。ゾーンをしっかりと位置付ける方が必要では。

答 生活空間と観光ゾーンが重なっているという事例が増えてきているが、問題もある。双方をうまく活用したい。

問 来年度のトンネル開通を見据え、交流拠点エリアの形が見えてもいいのか。

答 お茶の駅構想を今年度一定の形ができないか、計画を動かしている。また、5年前から取り組んでいるけん引事業を5年間延長させる。

問 多発するごみの不法投棄の監視や防犯、安全のため、防犯カメラを設置できないか。

答 和東町コミュニティ振興事業補助金[※]を活用していただきたい。

[※] 事業費30万円以上が対象。補助率は10分の4で限度額は50万円。

問 ツツカーの実証事業が行われているが、電話がつながりにくいことがある。専用回線を設けるなどできないか。

答 つながりにくい時間帯がある。委託業者でオペレーターを共用しており、コスト削減に努めている。スマートホンやパソコンを利用した予約システムもあるので、使い方を周知したい。

問 茶源郷まつり開催時期のめどは。

答 早急に行方委員会を開催し、できるだけ早く、農家のみなさんの迷惑にならない時期に開催したい。

問 町葬の要綱では「功績を讃える」となっている。何を功績と認定したのか。

答 和東町の財政の立て直しや公共施設の整備など22年間頑張っていた。総合保健福祉施設は財政をやりくりし、今後の住民の大きな財産となる。

自治功労者表彰に同意

永年にわたり、町長として本町自治の発展に貢献された **故 堀 忠雄** 氏
 永年にわたり、議会議員として本町自治の発展に貢献された **岡田 泰正** 氏

人権擁護委員の推薦について
 任期満了に伴い、次の方の選任について諮問があり、選任することによって答申しました。

ひのきたに まさき
松谷 正樹 氏 (新任)

意見書

第3回定例会(9月)に次のとおり意見書が提出されました。

①物価高騰対策の抜本的な強化を求めめる意見書
 提出者 岡本正意 議員
 賛成者 4人
 反対者 5人

否決

②安心できる介護保険制度へ政府が責任を果たすことを求める意見書
 提出者 岡本正意 議員
 賛成者 4人
 反対者 5人

否決

③保険証廃止の中止、撤回を求めめる意見書
 提出者 岡本正意 議員
 賛成者 4人
 反対者 5人

否決

各議員の賛否

令和5年第3回定例会(9月)に、提出された議案のうち賛否がわかれたもの

会議区分	議案名	審議結果	議員名									
			村山一彦	宗健司	山本達也	高山豊彦	井上武津男	岡本正意	畑武志	小西啓	岡田勇	吉田哲也
委	令和4年度和東町一般会計歳入歳出決算認定について	認定	-	○	○	○	○	×	○	○	○	○
委	令和4年度和東町国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について	認定	-	○	○	○	○	×	○	○	○	○
委	令和4年度和東町簡易水道事業特別会計歳入歳出決算認定について	認定	-	○	×	○	○	×	○	○	○	○
委	令和4年度和東町下水道事業特別会計歳入歳出決算認定について	認定	-	○	○	○	○	×	○	○	○	○
委	令和4年度和東町介護保険特別会計歳入歳出決算認定について	認定	-	○	○	○	○	×	○	○	○	○
委	令和4年度和東町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	認定	-	○	○	○	○	×	○	○	○	○
本	和東町過疎地域持続的発展市町村計画の変更について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	×	-
本	令和5年度和東町一般会計補正予算(第4号)	可決	○	○	×	○	○	×	○	○	○	-
本	物価高騰対策の抜本的な強化を求めめる意見書	否決	×	○	○	×	×	○	×	○	×	-
本	安心できる介護保険制度へ政府が責任を果たすことを求める意見書	否決	×	×	○	×	×	○	×	○	○	-
本	保険証廃止の中止、撤回を求めめる意見書	否決	○	×	○	×	×	○	×	○	×	-

※会議区分 本は本会議 委は決算特別委員会 ○は賛成 ×は反対 -は採決に加わらない
 吉田哲也議長は本会議の採決に、村山一彦決算特別委員長は決算認定の採決に加わりません。

一般質問

町政を問う！ 提案する！

9月11日に行った一般質問には、2人の議員が質問に立ち、町長等に対して様々な課題についてたどしました。各議員の質問項目を紹介します。

やまもと たつや
①山本 達也 議員 (10ページ)

1. 和東町をこれからどのような町にしたいか、町長のビジョンを問う
2. 第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略の基本目標の現況は
3. 町内に住みながら仕事をするための具体的な雇用施策は
4. 町をアピールする具体的行動と施策は

おかもと しょうい
②岡本 正意 議員 (11ページ)

1. 新町長の基本姿勢を問う
 - ①憲法を土台に暮らし、福祉、平和を守る行政を
 - ②住民との対話を進めるために
2. 物価高騰対策の具体化を
3. 今夏の異常高温を踏まえ対策を
4. 学童保育の充実を

一般質問は、町の行財政全般にわたる議員主導による政策論議です。

質問時間は答弁を含め1時間以内で、時間内に何度でも質問できます。記事は質問順で、内容は本人から提出された要約原稿です。

詳細は、後日ホームページに掲載する議事録と和東町チャンネルでご確認ください。



やまもと たつや
山本 達也 議員

和東をどのような町にしたいか、何が必要だと感じているかビジョンを問う

町長

住民コミュニティを再生し住民と行政が議論を交わしまちづくりに取り組む

問 和東をどのような町にしたいか、何が必要だと感じているか、町長のビジョンを聞きたい。

答 町長 住民コミュニティの再生で多種多様な団体が立ち上がり活発な活動を期待。文化施策面が若干劣っている点を改善したい。

問 第5次総合計画第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略の基本目標で基本的方向1の具体的な事業(3事業)について給付実態や体制構築の中身は。

答 農村振興課長 農業次世代人材投資資金給付事業は単身者3名合計450万円、夫婦1組225万円を交付。援農者支援の移住・定住促進事業は茶業、観光、産直、新たな農業を加え6次産業化を推進し雇用の創出を目指す。地域雇用創出人材確保支援事業は人材育成とUIJターインを推進し収入を補償する仕組み作りを考案中。

問 (仮称)犬打峠トンネル開通に伴う茶源郷和

東まちづくりプロジェクトにおいて現在推進する具体的な事業は何か。トイレもない、レストランもない中、どのように観光客を迎え入れ外貨を稼ぐのか。

答 町長 ハードではなくソフト重視。ハードを先にやってもソフトが付いてこなければ人が動かない。2025年の万博明けを目指してじっくり進めたい。農家での新規就農、補助金を使い開発した商品をイベントで販売など雇用促進協議会と伴走型支援を行っている。和東茶カフェは成功事例でソフト事業が先行した。

問 町内に住み仕事をする具体的な雇用施策は。

答 農村振興課長 和東茶地域ブランド促進分野、新規就農及びUIJターン促進分野、茶産業の6次産業化による商工業活性化分野の事業での雇用創出と空き家を移住者用、店舗用、店舗付き住宅等に区分けし、起業・創業を希望する移住者の支援をしている。

問 町外へ働きに出るための働きやすさの施策は。

答 福祉課長 和東保育園では早朝保育を午前7時30分より、延長保育も午後7時まで実施。また和東保育園、和東児童クラブ、いきいきこども館では土曜日も開所、仕事と子育てを両立できる支援をしている。

問 ホームページ、インスタグラム、ティックトック、X(旧ツイッター)等で町としての積極的な発信が少ないが、今後活用するの。

答 町長、総務課長 前回の定例会で尋ねたホームページの見にくさは3ヶ月が経過するのに変化がない。

答 町長、総務課長 インターネットを活用した情報発信手段としてホームページを最大限活用し、その他のSNS活用は様々な問題があるため考えていない。

ホームページでは重点施策の子育て支援、観光、移住・定住はトップ画面から

閲覧できる。今後は庁内検討委員会を招集し見やすさ、使いやすさ、内容等も検討する。



和東町のホームページ

問 相楽東部3町村合同で大きな集客イベントなど、具体的な計画はあるか。

答 地域力推進課長 相楽東部未来づくりセンターでは毎年10月から12月にかけて相楽東部の魅力を感じてくれるアクティビティイベントを開催。和東町では和東抹茶アート体験、マウンテンバイク体験、謎解き茶畑ウォーキング、石けん作り体験を実施予定。地域活性化や交流人口の拡大への事業展開をしている。



おかもと しょうい 岡本 正意 議員

新町長の基本姿勢を問う・・・憲法を土台に暮ら

し、福祉、平和を守る行政を

町長

憲法尊重、戦争反対は当然。国防は必要だが外交での対話を望む

問 憲法を尊重し住民生活と福祉の向上を進める行政を。

答 町長 憲法を尊重し法律順守の行政運営に努める。

問 戦争に反対し加担しない事を明確に。政府の「敵基地攻撃能力」保有や防衛予算倍増に反対を。

答 町長 戦争反対は言うまでもない。政府の動きは注視する。

問 一般論でなく具体的な「戦争準備」の動きへの考えは。

答 町長 国防は必要だが一般住民への波及は避けたい。一方、自治体は国の末端機関であり制度が出来れば従う必要もある。

住民との対話を進めるために

問 全町をまわり懇談会開催を。若い世代、女性の声の反映を。

答 町長 対話型の行政を進める。

「茶源郷サロン」を活用し、懇談会も検討する。

物価高騰対策の具体化を

問 町独自の対策の具体化を迅速に。

答 町長 国や府の対策を見ながら検討する。

問 待ったなしの現状。9月議会で具体化を。

答 町長 今の段階では難しい。

問 水道基本料金免除、下水道や汲取り料金の軽減を。

答 町長 町の財源だけでは難しい。

問 会計年度任用職員の賃上げ、処遇改善を。

答 町長 最低賃金の見直しに基づき賃上げする。

今夏の異常高温を踏まえ対策を

問 学校施設など公共施設の断熱化を。

答 町長 「耐震補強に併せ改修を実施した。」

問 断熱化は温暖化対策にも有効。具体化を。

答 町長 計画的に整備を考えたい。

問 学校体育館や特別教室、海洋センターアリーナ等の空調整備を。

答 町長 体育館の空調整備は大規模改修が必要で困難。海洋センターは今後のあり方を検討。

問 体育館等は大変急がれる。来夏にむけ検討を。

答 町長 必要に応じ計画的に実施したい。

問 「地球温暖化対策実行計画」の充実を。

答 町長 住民参加での計画づくりに努力する。

答 農村振興課長 更新作業を進めている。意見公募も行う。

学童保育の充実を

問 保育料の無償化を。

答 町長 検討はしていない。

問 夏休み等、長期休暇中の給食提供の検討を。

答 福祉課長 提供にむけた課題解消へ検討したい。

問 正規雇用の指導員の配置を。

答 町長 担当職員を配置し対応。



断熱化は温暖化対策にも有効

総務厚生常任委員会

**ワツカーの来年度の継続に向け
運用方法を検討を**

畑井上・山本
小西・村山

8月30日、令和5年度事業執行状況等について事務調査を行った。

また和東B&G海洋センターの現状も調査した。

総務課

○ふるさと応援寄附金事業は、クレジット決済など納入しやすい環境を整備した結果、前年同期比、件数で1.5倍、金額は約1.3倍となった。

○茶源郷乗合交通生活お届け事業の登録者数は240人、利用者数は延べ1514人。

税住民課

○個人番号カードの交付率は7月末現在で73・4%。

福祉課

○出産・子育て応援給付金は、妊娠届出時の方3名、出産届出時の方1名

に給付。

委員からの意見や質問

問 今年度の茶源郷まつりはどうするのか。

答 9月補正に補助金を計上する予定。日程等は実行委員会決定される。

問 ワツカーの今後の見通しと目指す形は。

答 住民懇談会での意見を踏まえ改善する。また年内をめどに方向性を固め公共交通会議の意見を踏まえ検討する。

問 個人負担となった新型コロナウイルスの検査費用に補助は出せないか。

答 国の動向を見て検討する余地はあると思う。

問 認知症初期集中支援推進事業は、相楽東部広域連合で行っているのか。

答 東部連合に委託し、10人弱が対象。症状初期の方を医師や専門の方に集中して見てもらっている。

問 要介護認定者の増えるペースは。

答 審査件数としては横ばいの年もあるが10人強くらい増えていっている。

問 B&G海洋センターの今後は。

答 プールの利用が望まれているのは耳にしているが、最適な方法を見出したい。しばらく検討したい。



プールの利活用は いか

問 ワツカー好調の報道があったが、まだこ入れが必要では。

答 リピーターが大半で、利用者のあるエリアやニーズのある時間帯に動いているが、できるだけ色々なところで使ってもらえるようにしたい。

広域連合議会報告

相楽東部広域連合議会

7月23日に第2回定例会が開催。一般質問では、こども基本法の受け止め、教育現場におけるAI活用、モンスターペアレントへの対応、ごみ出し困難者等への支援などが問われた。5年度の補正予算は、笠置小学校の給食室浄化槽改修工事などで約750万円の増額で全員の賛成で可決。広域連合議会の個人情報保護に関する条例も全員の賛成で可決された。

京都地方税機構広域連合議会

第2回定例会が、8月7日に開催。議長に京都府議の荒巻隆三氏、副議長に城陽市議の上原敏氏が当選。2名の一般質問の後、令和4年度決算が賛成者多数で認定された。

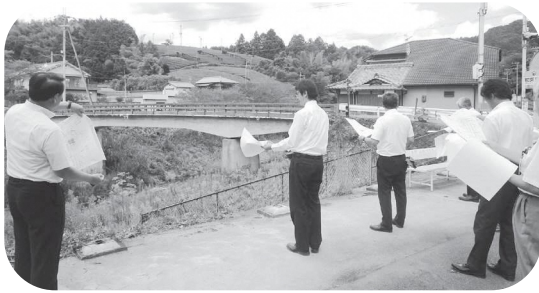
令和4年度決算額

歳入総額	24億6869万9665円
歳出総額	24億6770万333円

京都府後期高齢者医療広域連合議会

第2回定例会が、8月25日に開催。議長に京都市議の下村あきら氏が当選。副連合長に向日市長の安田守氏が選任された。

令和5年度の補正予算は、一般会計、特別会計とも全員賛成で可決。このうち、一般会計は電算システムの更改時期を1年延長するためのもの。



架け替え予定の石寺橋付近を調査

8月29日に開催した委員会では、令和5年度事業の進捗状況や総合保健福祉施設の建設工事請負契約等の審議、石寺地域で整備予定の景観展望施設の予定地や、景観前に至る町道のS字カーブ箇所、架け替え予定の石寺橋付近の現地調査を行った。

産業常任委員会

**総合保健福祉施設の
建設工事が着工へ**

岡本
高山・宗
岡田(勇)・吉田

〔令和5年度事業〕

各課からの報告をうけ、各委員からは、和東茶ブランド新商品開発事業や空き家活用プロモーションの内容、スマートオフィスの利用、農泊の日帰り事業の受け入れ状況や燃料券の利用時期、倒木等の災害への補助、町長の初登庁での「説明責任を果たす」との発言の趣旨、今後のごみ処理の受け入れ先の方針、物価高騰対策、閉鎖中の湯船親水公園の再開やワールドマスターズゲームズの方向性等について意見が出された。

〔総合保健福祉施設の建設工事請負契約〕
一般競争入札により16億1150万円で株式会社蔵建設が落札。担当課から不

調となった1度目の入札の経過や、6月以降の基準変更の内容を踏まえ、1度目よりも予定価格が約2700万円増額したと報告。委員から、請負率が99・05%とわけて高くなった理由や、地元業者が入札に参加しやすい環境作りが十分だったか等について質疑があった。

〔石寺景観展望施設予定地等を現地調査〕

石寺景観展望施設の予定地で整備方針の説明をうけ、状況を確認。続いて景観前の町道のS字カーブの危険箇所を確認するとともに、



石寺景観展望施設の整備方針を確認

広域連合議会報告

令和4年度決算は一般会計、特別会計とも賛成者多数で認定した。また、2件の請願書は不採択。

令和4年度決算額
・一般会計

歳入総額 13億3442万4582円
歳出総額 12億1145万6564円

・特別会計

歳入総額 3984億3111万5005円
歳出総額 3880億1385万8997円

架け替え予定の石寺橋付近で図面に基づいて工事概要の説明をうけ、府道との交差点やバス停の位置等も確認した。

新任議員の紹介

令和5年8月13日執行の和東町議会議員補欠選挙で当選されました。

- ①氏名・当選回数 ②住所(大字・小字)
③所属政党 ④所属委員会 ⑤年齢・職業



① **宗 健司** 1回
② 湯船・中山
③ 無所属
④ 産業
⑤ 59 不動産業



まちの
“元気”を
訪ねて

“和東ならではの表現を探して”

あほうがま にしかわ まい
～“阿呆窯”西川 真衣さん(湯船)～

今回は、今年6月に移住して陶芸をされて
いる西川さんにお話を伺いました。

Q 和東町に移住して来られたきっかけは？

A 焼物の産地である信楽にすぐ出られるとい
うことが大きかったです。元々窯を置ける
作業場が欲しくて、地元である関西での独立を
考え探していたところ、今の家の大家さんと知
り合い、縁があつてこちらに来ました。ここに
来るまで和東のことは知りませんでした。ここ
んでみるといいところだなと思いました。

Q 和東町の印象は？

A 移住者の方も多く、ウエルカムな町だと感
じています。夏の盛り、ご近所から美味し
い胡瓜や茄子を沢山分けて頂きました。本当に
ありがとうございました。

Q 陶芸を始め
られたのは
いつから？

A 京都の職業
訓練校で2
年間ろくろの技
術を専門的に学
び、それから沖
縄の北窯という
窯で焼物の一連
のプロセス(土
を掘り、不純物



作業中の西川さん

を取り除き、焼
き物に適した状
態に調整するこ
と、薪を使用し
た登り窯での焼
成等)を学びま
した。3年間の
修行を経て関西
に戻ってきました。

Q 実際住んでみて良かった事やもつとこうな
ればと思う事などは？

A まだ住み始めて4ヶ月ということもありこ
れから出てくるかもしれませんが、普段の
買い物には不便を感じています。町の中心部に
大きなスーパーがあればいいと思います。カ
フェなどの飲食店ももっと増えると嬉しいで
す。観光客も多いし需要はあると思います。

Q これからやってみたいことは？

A 洗い焼き味の出る和東の土を使って宝瓶ほうびん
を
試作中です。せっかくお茶の産地なので、
茶器のことを勉強し、制作に力を入れていきな
いです。また、お茶の製造過程で出る不要にな
った部分の灰を釉薬ゆうやくの原料として再利用したり、
“和東産”にこだわった陶器づくりができれば
と思っています。和東ならではの表現を探して
いきたいです。

(取材 小西啓・山本達也)



和東の土からできた陶器(試作品)

編集後記

8月の町長選挙で当選された馬場正
実町長の下、新しい和東町政がスタ
ートしました。全国的な問題でもある
インフラの老朽化、人口減少や空き家
問題などすでに取り組まれてきた課題
ですが未だに出口が見えない状況です。
まずは若く新しい視点での新町長の手
腕が問われる4年、和東町にとっても
将来への大きな転換点となるでしょう。
その中で鷲峰山トンネルが来年中に開
通の見込みで観光客も含めた交流人口
の増加が見込まれます。そのための新
しい交通網整備、和東のランドマーク
といえる拠点の整備など厳しい財政の
中で限られた予算を如何に有意義に使
うかが問われると思います。

新しい町政の中で今後の和東町が将
来に向けてステップアップするための
生活の基盤となるインフラ整備、観光
客受け入れ施設新設や企業誘致での税
収増加、和東にしかない子供の教育環
境整備でファミリー人口増加などに大い
に期待したいと思えます。

(山本 達也)

広報編集委員会

- 委員長 高山 豊彦
- 副委員長 岡本 正意
- 委員 山本 達也
- 委員 畑 武志
- 委員 小西 啓

第4回定例会は、12月中旬開催予定。